



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 ポパール興業株式会社
 コード番号 4247 URL <http://www.poval.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 052-419-1827

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,399	21.8	105	38.4	115	103.4	134	191.5
29年3月期第2四半期	1,148	5.2	76	3.6	56	32.4	45	19.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 130百万円 (%) 29年3月期第2四半期 38百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	101.76	
29年3月期第2四半期	34.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	5,487	4,365	79.3	3,302.16
29年3月期	5,242	4,274	81.3	3,233.80

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,350百万円 29年3月期 4,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		30.00	30.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,847	19.0	189	57.1	206	94.4	197	165.9	150.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	1,317,400 株	29年3月期	1,317,400 株
30年3月期2Q	株	29年3月期	株
30年3月期2Q	1,317,400 株	29年3月期2Q	1,317,400 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業収益に支えられ雇用・個人消費に底堅さがみられるなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、アジア情勢が緊迫化するなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」を目標に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、鉄鋼・食品業界向けのベルトの販売が堅調に推移したほかウレタンタイミングベルト、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移しました。

また、食品向け機械の販売が堅調に推移したことにより売上が増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,399百万円（前年同四半期比21.8%増）、営業利益は105百万円（前年同四半期比38.4%増）、経常利益は115百万円（前年同四半期比103.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は134百万円（前年同四半期比191.5%増）となりました。

当社グループは、「総合接着・樹脂加工事業」の単一セグメントでしたが、株式会社日新製作所の連結子会社化に伴い、報告セグメントを「総合接着・樹脂加工事業」と「特殊設計機械事業」に変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、鉄鋼・食品業界向けのベルトの販売が堅調に推移したほかウレタンタイミングベルト、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は1,254百万円となりました。

特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、食品向け機械の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は145百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて244百万円増加し、5,487百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて144百万円増加し、2,482百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が178百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて100百万円増加し、3,004百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が56百万円、土地が59百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて153百万円増加し、1,121百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて186百万円増加し、798百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が127百万円増加したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて33百万円減少し、323百万円となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が17百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて91百万円増加し、4,365百万円となりました。これは主に、利益剰余金が94百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて122百万円減少し、791百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ68百万円増加し、74百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が174百万円計上されたことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、153百万円（前年同四半期は306百万円の収入）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が164百万円計上されたことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ9百万円減少し、42百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が39百万円計上されたことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、平成29年11月7日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	914,251	791,492
受取手形及び売掛金	721,277	※2 899,279
商品及び製品	32,624	36,566
仕掛品	399,711	433,032
原材料及び貯蔵品	178,891	200,444
その他	91,603	124,333
貸倒引当金	△411	△2,936
流動資産合計	2,337,948	2,482,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,405,522	1,478,213
減価償却累計額	△914,479	△969,766
建物及び構築物(純額)	491,043	508,447
機械装置及び運搬具	1,267,933	1,271,871
減価償却累計額	△1,023,272	△1,046,433
機械装置及び運搬具(純額)	244,661	225,438
土地	1,333,482	1,393,296
建設仮勘定	3,052	59,921
その他	190,225	202,390
減価償却累計額	△168,487	△176,804
その他(純額)	21,738	25,586
有形固定資産合計	2,093,978	2,212,689
無形固定資産		
のれん	24,517	72,972
その他	4,577	4,645
無形固定資産合計	29,095	77,617
投資その他の資産		
投資有価証券	656,037	628,316
その他	126,935	87,414
貸倒引当金	△1,130	△1,120
投資その他の資産合計	781,842	714,609
固定資産合計	2,904,915	3,004,917
資産合計	5,242,863	5,487,128

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	252,425	※2 380,293
短期借入金	118,036	115,092
未払法人税等	37,799	41,925
賞与引当金	61,416	66,993
その他	142,946	194,523
流動負債合計	612,624	798,827
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,221	192,113
退職給付に係る負債	107,008	115,089
その他	39,902	15,805
固定負債合計	356,132	323,007
負債合計	968,757	1,121,835
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	3,626,363	3,720,894
株主資本合計	4,081,304	4,175,836
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,988	133,049
為替換算調整勘定	42,919	41,374
その他の包括利益累計額合計	178,907	174,424
非支配株主持分	13,894	15,032
純資産合計	4,274,106	4,365,293
負債純資産合計	5,242,863	5,487,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,148,653	1,399,290
売上原価	676,068	849,805
売上総利益	472,585	549,484
販売費及び一般管理費	※ 396,421	※ 444,054
営業利益	76,164	105,430
営業外収益		
受取利息	514	492
受取配当金	9,228	7,262
為替差益	—	1,486
その他	1,903	1,747
営業外収益合計	11,646	10,988
営業外費用		
支払利息	100	784
支払手数料	240	—
為替差損	30,566	—
その他	57	21
営業外費用合計	30,964	805
経常利益	56,846	115,613
特別利益		
投資有価証券売却益	17,510	—
固定資産売却益	—	775
匿名組合投資利益	—	30,928
保険解約返戻金	—	27,432
特別利益合計	17,510	59,136
特別損失		
投資有価証券売却損	545	—
固定資産除却損	252	731
特別損失合計	797	731
税金等調整前四半期純利益	73,559	174,019
法人税等	27,068	38,616
四半期純利益	46,491	135,403
非支配株主に帰属する四半期純利益	498	1,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,992	134,053

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	46,491	135,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,505	△2,938
為替換算調整勘定	△75,049	△1,755
その他の包括利益合計	△84,554	△4,694
四半期包括利益	△38,063	130,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,277	129,570
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,786	1,138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	73,559	174,019
減価償却費	55,070	58,265
のれん償却額	—	2,580
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	85	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△690	4,301
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,587	8,148
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,149	△17,079
受取利息及び受取配当金	△9,743	△7,755
支払利息	100	784
為替差損益 (△は益)	14,141	△2,775
投資有価証券売却損益 (△は益)	△16,965	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△775
有形固定資産除却損	252	731
保険解約返戻金	—	△27,432
匿名組合投資損益 (△は益)	—	△30,928
売上債権の増減額 (△は増加)	△51,152	△121,315
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,962	△59,103
仕入債務の増減額 (△は減少)	△39,457	123,801
その他	△13,420	△4,356
小計	9,554	101,121
利息及び配当金の受取額	8,685	6,747
利息の支払額	△109	△882
法人税等の支払額	△5,103	△32,474
損害賠償金の支払額	△7,331	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,694	74,512
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,361	△55,245
有形固定資産の除却による支出	—	△721
有形固定資産の売却による収入	—	775
資産除去債務の履行による支出	—	△275
無形固定資産の取得による支出	—	△12
投資有価証券の売却による収入	335,258	—
投資有価証券の償還による収入	—	20,000
投資有価証券の払戻しによる収入	3,889	5,486
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	※2 △164,513
貸付けによる支出	△368	△4,612
貸付金の回収による収入	2,144	712
保険積立金の解約による収入	—	57,270
保険積立金の積立による支出	—	△10,849
預り保証金の返還による支出	—	△1,000
預り保証金の受入による収入	500	—
差入保証金の回収による収入	566	2,547
差入保証金の差入による支出	△4,053	△2,854
投資活動によるキャッシュ・フロー	306,575	△153,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△2,658
配当金の支払額	△39,510	△39,500
長期借入金の返済による支出	△12,404	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,914	△42,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,292	△1,822
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	267,648	△122,758
現金及び現金同等物の期首残高	596,889	914,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 864,537	※1 791,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、総合接着・樹脂加工事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,254,214	145,075	1,399,290	—	1,399,290
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	5,280	5,429	△5,429	—
計	1,254,363	150,355	1,404,719	△5,429	1,399,290
セグメント利益	163,169	50	163,220	△57,789	105,430

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	163,220
セグメント間取引消去	△973
全社費用(注)	△56,816
四半期連結損益計算書の営業利益	105,430

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

特殊設計機械事業において、当第2四半期連結会計期間にユニカー工業株式会社の株式を取得したことにより、セグメント資産が289,365千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間より、ユニカー工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、特殊設計機械事業において51,035千円であります。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来より総合接着・樹脂加工事業の単一セグメントでしたが、前第3四半期連結会計期間より、株式会社日新製作所が連結子会社になったことに伴い、報告セグメントに特殊設計機械事業を追加しております。